

海軍機密第一四三號

大正八年一月二十五日發佐世保

矢野艦長山口傳

海軍軍令部長角田壽島村速雄殿



一軍艦名を流行性感冒の報告一通

右提出ス

(別紙添付)

(了)

本



海



0722

軍艦矢野流行性感冒の報告

一 流行前情况及當時執リタル處置

本艦千歳ト交代爲メ新嘉坡回航命ヲ受テ十月九日トシテ  
合地ニ到着シ恰モ全ク面ヲテ僚艦對馬最上第千三駆逐隊等  
流行性感冒爲甚シク艦マナレタ後ニシテ當時陸上病勢大ニ  
衰エ居リシト雖之カ艦内侵入防止ニ就テ細心ノ注意ヲ拂ヒ下  
士卒ニ陸ヲ禁止シ公用其他止テ得ルニテ上陸スル者ニ其ノ前  
隊防藥ヲ服セシメ含嗽ヲ行ハシメ外來ノ艦内ニテ禁シ又屢々  
訓示ヲ賜ヘ或副長厚藤長等ヲシテ機直ニ注意シ惹起病  
等ヲナシテ多ク情況推移ヲ觀望スルニ約二週間陸上病勢大  
殆トシ終熄シ益好況ニ僚艦上陸等ヲ許可シ何年異水ト  
シテ十月五日午下士卒ニ對シ約四時間死下士卒集會所ニ  
限リ半艦上陸ヲ許可セリ

0723

十月十四日突如四〇白熱性患者發生ス未タ流行性感冒月々  
 ノ確証トモ現下情勢ニ鑑ミ直ニ之ヲ上甲隊第一區兵員室ヲ  
 隔離所トシ遊兵ヲ嚴シク曰ク軍醫官ヲ各員ニ對シ最モ慎重  
 ニ檢査ヲ行ハシメ居タルニ全千人自至間約十名ノ熱性患者ル  
 ニシテ其後増加模索ク經過良好ナリ依テ右單ニ上甲隊ニ就  
 寢シテ事實行アルヲ以テ普通ノ風物トシテ軍醫官ノ意見  
 ヲ参照シ此上蔓延ノ虞ナキト信ス

二艦内蔓延ノ情況

十月二十日干岩新嘉坡來着仕務ヲ全艦ニ引継キ人々日午後四  
 時馬刺刺ニ同テ出港ス今日夕食後終身ノ檢査ヲ行ヒタル約ニ  
 十名ノ輕熱ノ熱性患者ヲ發見シ翌十七日百數回檢病  
 ヲ行ヒ各回十數名患者ヲ出シ全日午後二時迄九名ノ蔓延ノ情  
 況甚タ憂ハキアリ乃チ流行性感冒ト該定シ之ヲ檣艦ニ報告

0724

不其之ヲ初過之始ハ而シ時已ニ馬北則ニ番航程ニ近ク  
 且罹患者並ニ疑ハキ有熱者之ヲ隔離シ他ハ頻繁健康診斷ヲ  
 施行シ消毒ヲ嚴行シ同病艦内蔓延ヲ防止得シト確信シ又  
 仅令流行性モニセテ初發以來患者ノ病勢甚ク緩慢ニシテ発  
 熱後五六日ヲ經過シモ尚流行性感冒ノ症状ヲ呈セサル程ナリシヲ以テ  
 其性質甚ク輕キモノ(新嘉坡流行セシモノ)彼南洲等ニ流行セシ  
 ノ如ク七夜患ナシト謂直ク得ルニ甚ク因テ之ニテ一兩月内ニ交浦  
 寢ニ就キ新陳代謝ニ何ナク航海ヲ續行シ得テ結果ノ決シク  
 瀉患スルモノニテ下信ニ現患者兼養ニ厚新嘉坡歸航者  
 其寧口極力傳染ヲ防過シ始メテ却テ陸上病院及診療所等ニ  
 余祐ヨリト信忠馬北刺商ノ(此間医事)補給入院療養等ニ以  
 テ附近都市ニ無電同會セシモ何レモ余祐ヨリト得策トシ断然予  
 定航路ヲ續航シ然レニ三日午前ニ等更ラ五下餘者ノ病患

海  
16/95/190  
四

者ヲ發生シ、腦内隔離モ遂ニ之ヲ施スニ因テ、二日午辰六三名、右冠  
 却負罹病就床シ、軍以長ハ名、半ハ罹病モ、右冠護手ヲ拍陣シ  
 診療、後事シツ、アリシモ三日ニ至リ、右冠護手ニ起リ、能ク四日ニ  
 僅少、七官ト共四十、下士卒、外殆ト全負、罹病シ、軍醫長モ遂  
 ニ就休スルニ至リ、診療、對シテ、獨使乘申、管大軍醫、僅少ト士  
 官下士卒、共ニ鬼者、治療、右冠護手、後事セリ、右冠、此モ、能クナルヲ以  
 テ、患者、診察、投藥、及右冠護意、任其、腦内、至、此、患者、轉  
 顛シ、呻吟、苦、悶、聲、ヲ、聞、ク、モ、又、如何、ト、ス、ル、能、ク、其、慘、酷、之、甚、シ  
 ノ、モ、セリ

又一方患者、増加ト共、腦内、海支、障、シ、及、此、ノ、慘、酷、刻、意、如、ク、  
 五直ヨリ、四直、三直トシ、尚、~~破~~、會、ヲ、以、テ、操、縱、シ、ハ、リ、シ、カ、シ、之、モ、及、ハ、ス  
 遂ニ、減、速、ス、止、ム、得、セ、シ、至、リ、或、重、要、ト、ル、配、置、ニ、カ、ル、モ、ノ、如、キ  
 他、適、當、ト、シ、友、儀、者、ト、シ、至、リ、身、重、能、ク、身、重、者、ト、シ、其、苦、痛、ヲ

0726

忍多連直濱直方如十或水島部員、如千七城岡部員、補助甚  
 他航海仕要ル馳驅僅クニ充テ得ル者又京炊員、如千七  
 一ニニ概負シ他補助ヲ得ル僅ク飯下ト以テ空腹ヲ凌ク、有様  
 二階等航路幸甚ヲ極シ全月五馬死刺入港シ得ル時  
 ノ如キ漸ク緇ヲ投シルニシテ揚鋪機ニ就クモモク容易ニ舷梯ヲ  
 出スル得ル數名、便乘者及明石ヨリ乘艦志僅ク下士卒(同艦ニテ  
 已ニ罹病濟、為今同罹病也)ニ僅ク衛兵等ヲ緋成シ得ル此  
 則於テ一等機以兵谷衛數雖種々手當盡シテモ遺憾ナク四日  
 午後八時十五分全病為死セリ

三、馬尾刺入港後、情況  
 馬尾刺入港ニ先クテ隊々全地領事ニ入院診醫師着護人拍糶等  
 二割ノ萬般準備、休賴ノ置キ入港共不取敢重態患者准書旨  
 坐土着下士卒三十五名ヲ陸上留テホル病院ニ入院シテ艦内ニ對シ

0727

六醫師日本人四名其他看護人ヲ招聘且陸上ヲ醫藥水等ヲ  
 補給シ患者ノ手當ニ從事セシ重態者七日ヲ十四日之間ニ  
 統計准士官以上三十名下士官百六十五名前赴病院及び七名ヲ  
 名ニ入院セシメテ一方艦内患者ハ皆大團医陸上醫師六日以後運  
 医長輕快離休セテ以テ各診療ニ妨ナク七日迄ニ五名ノ死  
 者ヲ出セル旨ニ若干ノ輕快者ヲ生カシテ十四日ニ重態者ハ總  
 病院ニシテ艦内患者ハ殆ド全部輕快ニ他方病院ニ於テ死  
 亡者續出シ入港後二十日之間ニ普門由佐岡本<sup>警備長</sup>外下士官  
 四十六名ノ死亡者ヲ出セリ<sup>警備長</sup>後ハ状況良好ト見全泊醫院者  
 増シ八年一月十日迄ニ五名ノ傷症發生者ヲ除キ全部退院  
 續イテ十三日患者者全部艦内ニ收容スルコトヲ得タリ  
 尚十二月五日以後電報報告セシモノヲ一抽去ル如ク

海軍省 海軍部 衛生課 支那支隊 支那支隊 支那支隊

0728

大臣 長官 一特司令官 死 (十一月五日於馬尼刺)

十月日米本艦之流行性感冒患者續發之乘員殆下全部罹  
病行動之支障あり目下漸時輕快者あり生老出稼動之得此迄六日後  
十日乃至二週間之要不見込

海軍大臣 長官 死 (十一月六日於馬尼刺)

新嘉坡出港後流行性感冒患者發生逐日増加之旨午後六時

自全部之役中 航海艦隊 幸其日 妙在日午幸馬尼刺入港

之得第一等檢閱其各儀數雄固日後一時死七名重症患者

進士官以上名下幸幸五名不取敢入院者尚若干入院之要ハル

モナル見込最重症患者目下越三名軍醫官及看護刻負

全部罹病者多ク入者後直之醫師及看護人々在滿之大臣

ニ之ヲ承認シテ

一註 海軍大臣 醫師及看護令 意備非ト下自思



海軍大臣 長瀬 長官 宛 (十月七日於馬尾刺)

一 特許令官

二 以後之状況  
全員罹患ニ伏卧セラルル僅々二三ノミニ在患者遂院後奥ニ本日  
士官名 下士官凡名 重症者入院セシメニ尚劇熱者約四十名内最  
モ重症者下士官五名ヲ其供恢復極メニ速ニナラセシテ就業  
シ得ルモ漸次増加シタリ

三四日以來 營大軍醫單獨 昼夜間斷キ努力ト入院後方地舖  
幸外在留同胞諸員ノ熱 該方援助ヲ得ツヤリ

兵艦長官 軍務局長 宛 (十月十日於馬尾刺)

二 日以後之状況

五日當地入港以來 自至間 米官及同情ト在留同胞熱減ル  
援助体ニ終ヲ進出官等五名下士官自為方地ニ入院  
入院セシメテ 予々各病院ニ死亡者七名ヲ七日下士官一名八日

下志之石丸副長及下志卒三名十日下志卒四名又腦内十日五名下志  
 卒及石丸副長卷計十七名及下志者之状況之重態者尚約九  
 十名ニシテ元來病非、或ハ急激ニ病ニ墜ルニ難キ感アリ甚ク氣遣  
 ハシ方陸上ニテ更ニ療養新ヲ借リ慢ク之ニ輕快者ヲ收容スルト后  
 時ニセントホシ病院ニ出シ心ヲ收容スルヲ得ル事配中然レ上船  
 内ニ患者者光ノ百名ニ出シ得ル見込アリ  
 病人看護ニ就テハ同船男女諸氏勿論、陸上ニ於テハ又ハツカリ  
 病人恢復ニ極ク速ニシテ且下船内ニ漸ク就業ニ得ルに至リタルモノ軍  
 醫長外ニ百四名下志卒約四百名自過半名如ク治療ノ堪受ニテ  
 最上等前例ニ鑑ミ今後、陸行ニテハ人員自補缺ヲ要スル場合モ亦  
 ハ下志考スルモ患者ニ對テハ尙先ニ適當ニ行ヒテモ、下志ハ  
 一時期可合當、康務前出死、(正月上日於馬鹿村)  
 是續長、高、康務前出死、(正月上日於馬鹿村)  
 十日以後狀況續テ獻身の在留内船諸島、朝霧米、高長、

0731





得ルモノ合算約百五名ヲ集ルニ至ルニ准テ官兵六艦内休業  
 者其他差當艦務ニ服シテ今同病氣ハ其博深急  
 激猛烈トモシ渡難易トモシ同病同難トモシハ博深也  
 也、如ク而シテ今復出衆事關シ在獨同胞諸君ト米官民  
 ノ援助勿論便來者ニ善核在利因核中佐長大率遠外三  
 四名、士官及下士卒四名熱誠志助力ヲ得ルモノ多ク大ニシテ  
 實ニ感謝ニ堪ホル處ナリ又殊ニ秋津洲十音方團進發ノ  
 報ニ接シ感激ニ至リニ堪ホス

具類長官

軍務局長宛（三月十七日發爲正刺）

十四日以後状況陸上ニ在ル患者下士卒約百五名由魚熊者七  
 八名ノ外漸次快方ニ向ヒテ十四名十七名全治帰艦トシ西三日  
 六尚約二十名ヲ退院セザル見ル但シ就業ニ得ル程度ニ  
 恢復スル退院後平均一週間ヲ要スルモノ如ク魚熊者



漸次恢復之醫藥職務之服得程度至入院中者現在  
正奉士官一准士官一正奉備六名内重態者五名  
皆先以生命取止得見込リ重態者外一週間乃至  
十日間漸次退院セシ得見込リ  
見込リ一月十日頃迄六一故落ヲ見込リ至急ト思考ス但  
今後多少ノ偶發者ヲ見込リテ虞ル

大正 皇親長官 特選 皇親長官 特選 皇親長官 特選  
皇親長官 特選 皇親長官 特選 皇親長官 特選  
(七月十日首發刺)

本艦流行性感冒月滿海月十日頃迄行動支障シ七月十日  
皇親長官 特選 皇親長官 特選 皇親長官 特選  
皇親長官 特選 皇親長官 特選 皇親長官 特選  
(七月十日首發刺)

本員在院患者准士官以上十名正奉等九名大重態者四名  
其他經過良好又艦内漸次常態ニ復シテ了

其後入院患者ノ恢復ノ程度ニ從テ漸次收容シテ在院  
皇親長官 特選 皇親長官 特選 皇親長官 特選  
皇親長官 特選 皇親長官 特選 皇親長官 特選  
(七月十日首發刺)



高瀬直孝九名上陸七經過良好上陸計十三日六全部良否不明  
ル見ルミ

二在艦者一般常態ニ渡シタル七時際相対テ副船長

突發テ下リ尚發意欲出又病後衰弱ニシテ海勤務ニ堪ニサ

ルモ尚約半名アリテ多数缺員ニ際シテ其復テ待タサル

状態ニアルモ其靜養期間ニ見計ヒ本月五日自出港ニシテ

際定テ行動隊定テ追テ報告ス

三海軍本部ヨリ是時港ニ於テ海保ニ於テ充分消毒ヲ行フ

様指示アリ

一五八員組長官一特司令官等ノ健康報

大體良シ 毎司令官等ノ死ニ一月七日於馬尼刺

流行性感冒患者ヲ後ニ回復ニシテ海勤務ニ堪ニサル者

五十餘名アリテ缺員多キ際ニ其回復ヲ待タサルハナラズ状態



アリ本月十日頃迄出動ニ差支アリ

長船長官位 一持内令官位 健念勤長 死 (一月辛酉於佐世保)

本艦馬尾刺後一同無事尚稍重方リノ数名ノ患者モ経過

愈々良好漸安心アリ度

四、罹病者数、入院者数及死亡者数

小罹病者数

月 日	上官以上	特務上官	下士官	備
七月三十日	/	/	三	百理在患者数
七月一日	一	/	五	二
二日	二	/	五	九
三日	五	/	六	三
四日	六	/	九	九
五日	一	/	九	三

0738







ヨリ八寧口初ノ頭痛咽頭痛食慾不振腰痛身體違和咳嗽  
 嗽等、輕微、前兆症狀ヲ發病ニ至ル、斯ク輕微ノ症狀ヲ  
 示フルモ、八體溫三度乃至三度八度ニ至ル他覺的症狀ヲ示ス前  
 兆症狀ヲ以テ約三時間乃至六時間ヲ要ス或ハ惡寒戰慄、  
 以テ三十九度以上達ス惡寒ハ一回ニ數回又復シ寒ノ熱ニ至ル熱  
 ニ伴ハシテ體アリ熱ハ多ク、枕背留性ニ至リ頭痛熱ニ至ル  
 輕症ナルモ、二日乃至五日瀉リ熱熱ニ三日乃至一週ヲ要ス熱  
 重症ナルモ、八高熱、枕背留性ニ至ル熱ニ下熱ヲ始メ熱型、併テ心  
 悸リテ再々上昇シ三十九度以上達シ毛細血管後末地加々見  
 性肺炎ノ症狀ヲ呈シ、其後經過亦毛細血管炎大葉加  
 答見性肺炎、如キ不整、熱型示ス  
 呼吸器、微熱中鼻粘膜、血管先發病初期、於テ赤赤  
 歐氏管ニ波及ス、其合ニ多ク耳鳴、重聽、耳内疼痛、新

0742

カルニ性狀ニ過生ニテ三日ニテ急ニ瘰癧ニシテ多クモ其ノ又火瘰癧中ニ  
 波及シテ慢性中再發ヲ發シ排膿多量ニ為ルニ連々多クアリ  
 咽喉系病當初輕度ノ疼痛異物感ヲ漸次其痛増シ疼痛  
 劇甚下ナリ乾燥感著明漸紅腫候  
 氣管支炎ノ症狀劇合ニテ急ニ發シ咳嗽ニ變變性咳嗽ニテ  
 咯痰ニ多嗽初期ハ少量ニテ漸次粘稠粘痰ニ變テ咯痰  
 肺炎ヲ惹起スルモ之ニ在リテ痰ヲ咯出ス或ハ痰紅或ハ精色ノ膿  
 不ニ生キ性肺炎ニ甚性對稱性肺炎ノ氣管支炎ニ加テ見性肺  
 炎ニ偶々シテ急ニ發シ急劇ニ起ル病狀ヲ見ルモ  
 其ノ其ノ性狀及シテ格差有性肺炎ノ類似シテ打診見ル  
 打診ニ變化ノ肺炎ニ起ルモ急劇ニ起ル會僅微ニシテ聽診上ノ  
 變化ニ著明著明ナリ

脈博ニ体温ニ致シ増數ナシ通常一分間ノ至百五十ノ脈以  
 毎  
 電

脈搏強實之極然多急要之不詳亦死轉歸之致多心  
 多之心脈變化之際後不良亦多之廣配關節之現心  
 臟衰弱來也  
 消化器之病則合體微多食慾不振口臭俱吐嘔吐等熱  
 伴之心店狀之呈也  
 神經系徵候頭痛背痛腰痛肢痛關節痛頑固之不振症  
 善於錯覺知覺非痺運動等  
 下肢之發也  
 胎後症之別學之人心悸尤進浮腫神萎不全肺源及胸膜炎也  
 六衛生部狀況庫船秋洋洲救護來航及陸上病院狀況  
 十月三日新嘉坡出港後流行性感冒患者續出之十日來組  
 橫田中軍醫先之罹病之同者續刻有之三日先任有護子倒  
 四日亦之水腫庫區長又休業之止公之至リ御祭中其大率

0744



醫事之於瘡之從事者多。十月五日馬尼刺入港。受重患者四  
 十六名。馬尼刺市七家。此病院送り。爾後十日迄。百單名入院也。  
 多。今病院。當地用業醫。共同病院。多。各用業醫。自己  
 患者。今病院入院治療。得也。  
 今病院。於治療。主。在留醫師。岡部武田。兩氏之。備。在留  
 邦。一直約十五名。米國陸軍省。護。卒。一直四名。終始。多。看  
 護。從事。之。船内治療。中山。與。間。老。村。三。医。及。藥。劑。師。一。名。  
 廿。官。大。軍。医。之。助。之。於。治療。盡。多。由。老。村。兩。氏。十。百。本。船。患者。  
 大。米。院。不。送。於。治療。好。多。老。國。同。氏。七。百。雅。病。心。至。也。  
 是。多。先。者。國。本。船。派。軍。醫。長。病。勢。減。退。多。以。於。治療。  
 從事。之。乘。組。由。軍。医。及。省。護。部。員。相。次。入院。之。其。員。由。經  
 驗。之。多。自。護。之。從事。也。多。也。  
 十月十日。新嘉坡。之。乘。船。最。上。來。組。高。田。中。軍。医。本。船。乘



組轉之翌月十五日來艦之十六日軍艦秋津洲救護為馬公  
 來航全要港却軍區長之川軍區大監押田中軍區及省護  
 手省護各一名同艦乘援後十七日陸上省護ヲ亦軍  
 區大監之任之工藤秋津洲軍區長押田中軍區省護一名及  
 本艦員數名有以之前此醫師在關邦人及米國陸軍省護  
 卒交之全カヲ盡之診療從事之腦内治療ヲ本艦軍區長  
 及高田中軍區ヨリ之出之之診療ヲ配一僧整然之如  
 至片  
 十月七日省護手省護各一名全為退院之先住省護于十三日死  
 全九日押田中軍區退院之腦内衛生ヲ自充實之者以十五日  
 本艦軍區長亦陸上病院之診療ヲ努メタリ  
 入院患者之狀況ハ經過重篤トモ多ク十月七日永秋賢治  
 郎遂ニ斃ス其後死者相次シ今月廿日迄ニ総數四十一名ト達ス

然レモ百方治療ニキリ盡シタル結果十音頃ノ病勢輕快  
セルヲ見ル事經過漸次良好トナリ辛一日以後死者ナク獲重  
傷ヲ傳エタル者ハ幸ニ漸次快癒スル事ハ八年一月十日遂ニ  
全員退院歸艦スルニ至リ

其他十月十日迄ニ馬尾刺布セネル病院ニ三十七名ヲ送リ夕  
生此等ハ比較的輕症者ナルヲ以テ僅三名死セ者出タル過キス

### 七、艦内消毒

五日入港後患者送院日ニ繼ギ艦内患者僅少トナリ以テ十二月  
七日午前比較的健康者ヲ集メ5%ノホルムリン石炭水ヲ以テ第一回艦  
内消毒並ニ掃除ヲ施行シ最初ノ隔離病室ヲ上甲板一ニ区  
下甲板一區持テ消毒ヲ行ハシ

翌十日以來四日間列統ヲ統制方ニ伴ヒ十四日第二回艦内  
消毒並ニ掃除ヲ行ハシ全員退院

高田の傳 消毒並ニ掃除ヲ行ハシ全員退院

軍 軍

0747

艦内ヲ常態ニ居住スルヲシ

入ル死亡者ノ葬儀及墓碑建設

死亡者ノ遺骨ヲ火葬スル所多シ葬儀普門由佐ノ南天寺其他、*Bene*

*Maria Par Chapel* ト称スル公教ノ場所ニ行ヒ葬儀時刻ニハ

艦長以下健康士官及豚魁下士卒若手右参列御曹日本

人副長以下数才右参列邦人僧侶右右、續經参列者焼

香ヲ終ラ公教火葬場ニ運コトトセ火葬之合ニ在邦人有

ク者教名ノ之ニ當リ遺骸ハ火葬後ニ三日ニテ領事館ニ在

由艦内ニ送リ艦内祭壇ニ安置スルトセリ

尚其終焉地於病歿者、英艦ヲ祭リ永久ニ其勳功ト追悼

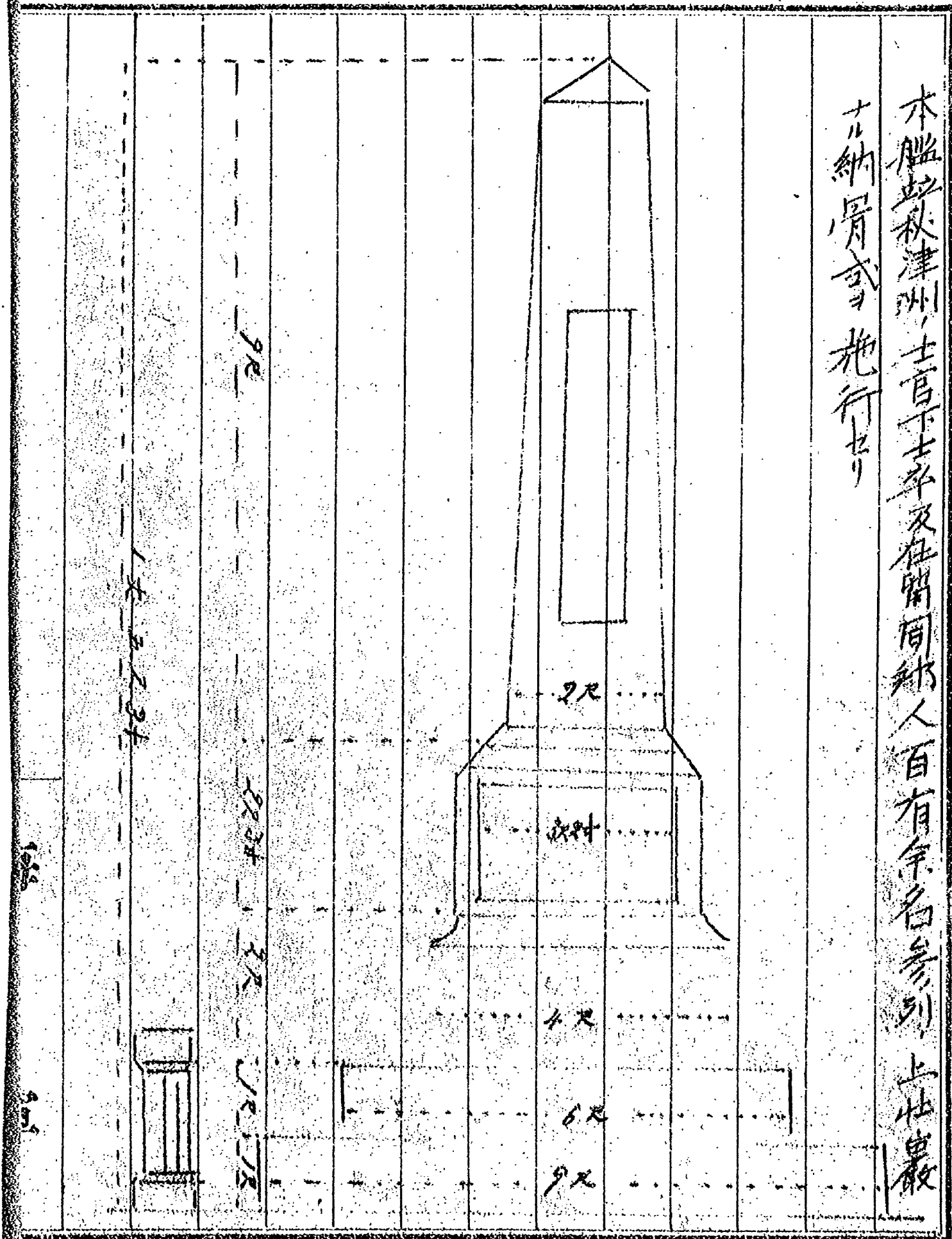
令々喚起セシメ并爲國是刺效外、*サント山* マカチ英國皇地ニ

合同遺骨ノ刻此ニヲ撰并ニ左図ニ示介如キヨウリト製

ノ墓碑ヲ建設永艦同地ニ先前日即一八九日墓前ニ於

0748

本館於秋津洲、士官下士卒及在留同胞人百有餘名、參列上壯、  
 古納骨式、施行セリ



0749

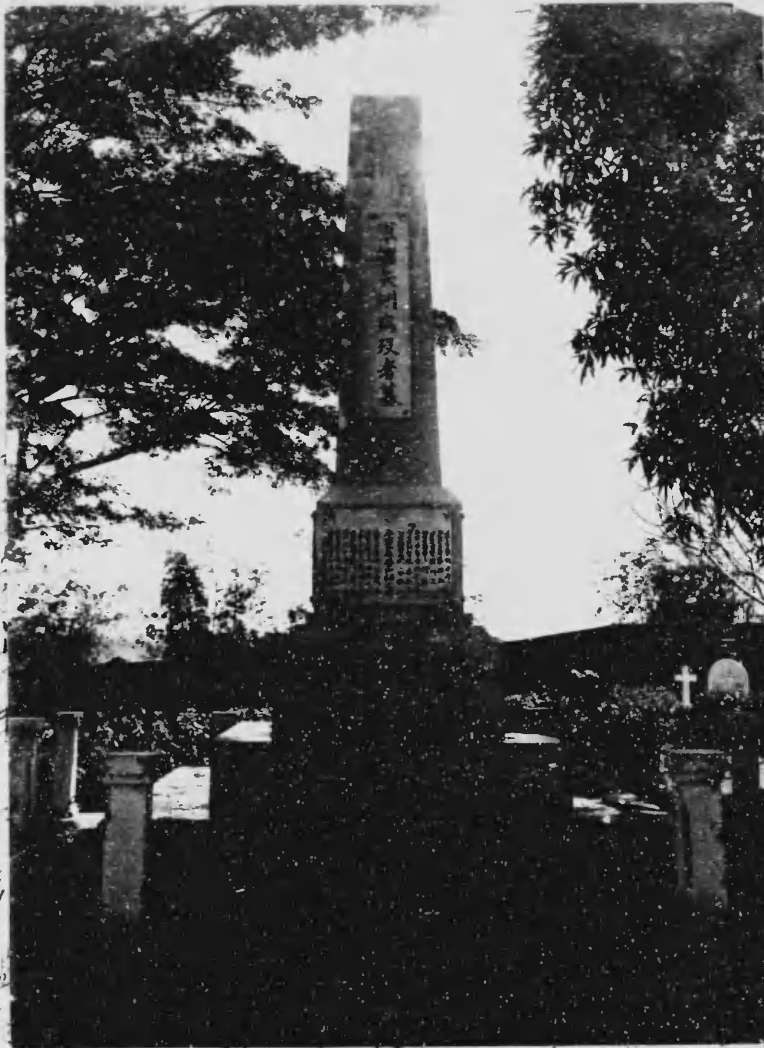
墓地背面ニ刻セシ慈銘次如シ

銘

這次坤輿大戦方リ本艦太平即度西洋ニ策動スニ年漸ク任務ヲ了  
 工新嘉坡ヨリ凱旋途殆ト全負流行性感冒侵サレ航海困難ヲ  
 極メ各月五日卒ニテ當港ニ入ル得タリ尔後在留同胞及當地官  
 民熱誠ニ援助ト軍艦秋津洲及軍医等特派受テ極力治  
 療者獲ニ好シモ十二月四日より同廿日ニ至リ副長以下四十八士ヲ  
 失フニ至リ痛恨何シ勝ハシ或ハ病艦ヲシテ配置ヲ離レテ病者ヲ  
 顧ミスニテ戦友ヲ看護シ或終焉ニ臨ニテ職務ヲ藉リ以搏絶エテ  
 陛下萬歳ヲ唱フ皆之レ地勇義烈ノ士永久ニ帝國戦史ヲ飾リ  
 國民精神ヲ指導スシ諸子願スルニキリ茲ニ遺骨一割ヲ合葬  
 シ謹テ諸士ノ忠魂ヲ弔フ

紀元二千年五月十九日  
 大正八年一月十九日  
 矢野 艦長 山口 傳一

0750  
0751



此は、明治二十九年一月一日、  
 東京府立第一高等女学校に  
 建立せられたる、

戦時中、東京府立第一高等女学校に  
 建立せられたる、

行性、東京府立第一高等女学校に  
 建立せられたる、  
 亦、戦時中、東京府立第一高等女学校に  
 建立せられたる、  
 此の、戦時中、東京府立第一高等女学校に  
 建立せられたる、  
 此の、戦時中、東京府立第一高等女学校に  
 建立せられたる、

昭和二十九年一月一日  
 山口博一

0750  
 0751



九、馬尼刺官憲、好憲又在留邦人義德等之對謝禮方法

馬尼刺官憲、本艦今回、病疫對、大好意ヲ表、諸禮、便身喫、

多則、本艦、副領事、無電、修受、本艦、元刺港、日達、直、

軍、官、患、者、救、護、為、特、派、來、艦、也、其、後、數、回、軍、醫、ヲ、來、援、

也、其、他、海、軍、初、院、提、德、其、仕、要、力、ヲ、賜、遠、路、正、為、謝、禮、也、陸、

軍、省、護、入、派、遣、某、之、病、院、入、院、國、兵、奔、走、解、旋、等、多、大、ル、援、助、蒙、

リ、至、大、便、宜、得、也、又、同、地、在、留、邦、人、病、院、準、備、醫、藥、藥、集、醫、師、

省、護、人、特、悉、救、濟、及、省、護、其、他、諸、物、品、同、舞、會、寄、贈、等、患、

者、濟、養、慰、安、之、功、也、又、有、者、者、自、衣、其、家、族、患、者、省、護、其、他、

之、後、者、也、獻、身、的、努、力、之、赤、心、履、也、余、等、馬、尼、刺、官、憲、在、留、邦、

人、中、也、或、身、舞、會、寄、贈、也、或、身、舞、書、信、者、電、報、之、寄、也、

間、接、的、之、後、助、也、也、

如、上、內、外、人、等、蒙、援、助、對、本、艦、馬、尼、刺、官、憲、濟、國、領、事、館、

其他有力部令歴訪之謝意乘之新贈金品等之對之ハ  
甚都度禮状ヲ差出之仍ハ忠者漸次快癒之艦内、整頓スル  
及ヒ内外人ヲ茶點會者ハ午後食ニ招待シ或者護衛等ニ對シ  
ハ艦内觀覽ヲ許可ス等先方、斡旋奔走對之助力ニ盡シ  
コトナリ尚菲細律儀統督代理ニ對シ前後二回文書ヲ以テ各  
官憲言受クシ厚ク意ヲ可重ク謝礼ヲ行フ海濱有護衛物件  
、提供其他諸事務ニ所ヲ執リ等、人ニ對シテ相賞金  
品、謝礼ヲ行ハリ

中先 海軍省 策持務艦隊司令官 (終)

只難守尉司令官

0753